

徒然なるまほし



隨想

「ポーランドへの手紙」

RIP第3回名古屋公演「W2X」舞台写真より。
右から2番目が筆者、4番目が弟、明彦氏(串間在住)

親愛なる「TEATR KANA(シアターカナ)」の皆さんへ

私の故郷は九州という日本で3番目に大きな島、そのほぼ南端にある宮崎県串間市です。皆さんのが住んでいる町からシユチエチン湖をめぐった対岸、シフィノウイシチエ辺りをグーグルアースで見ると、とても良く似た風景に驚きます。地引き網を引く漁師の三男坊の家に60年前、私は生まれました(弟が1人います)。

第二次世界大戦での敗北から13年。あと数ヶ月戦闘が続いていたら特攻兵として亡くなっていたらう父の生活は戦後の好景気と共に一変します。皮肉にも今では友好国となつた米国式の生活(テレビ、コード、クリスマスツリー、そしてドライブ)を楽しみ、失われた青春を取り戻すべく、長男の私に夢を託しました。「田舎を出て、医者か弁護士を目指せ!」出発です。ところが…。

串間市から車で2時間離れた宮崎県庁所在地にあるミシシッションスクールで寮生活を始めた私は、わずか2週間で挫折しました。信じられないことに、この間まで小学生だった少しだけが鉢巻きをして机に向かう姿を。英単語のつづりを覚えるため

1時間無言で書き通したノートはボールペンのインクでカーボン紙のように黒々と光っているのです。敗戦者の私は授業を抜け出し、図書館や映画館に身を隠しました。

朝の光の中を自転車が走つて来ます。プールに投げ込まれる写真看板、欲望と純真、赤、緑と白、そして予期せぬ結果。出会ったのは「Jerzy Skolimowski(イエジー・スコリモフスキ)」、タイトルは「Deep End (早春)」。今はもうない串間の映画館の暗闇の中で、私は才能という言葉を思い知らされます。ポーランドとの初めての出会いでした。

そして2番目の出会いは、さうに5年後。映画監督を目指しながら、大学の方針に早々と異議を申し立て、中退した私は「日本維新派」という劇団に入団しました。ストリップ・ショーで全国を回つて公演資金を稼ぎ、自分たちで野外に劇場を建てる。2000年代には「SHINHA」として、ヨーロッパへも遠征していく。舞台に登場するのはラシースを舞台に登場するのではなく、巨大なオブジェを引きずり舞台に登場する死者たち。似ていませんか、まるで引き離された双子のように思いを寄せて

**やました よしひこ
山下 義彦(60歳)**

串間市出身。大阪芸術大学中退後、「劇団日本維新派」に所属、25歳で退団。以後、建築会社勤務。2018年より演劇活動を再開。RIP(Re-Incaronation Project)所属。



EVENT

としょかんまつりが開催されました



10月20日、市文化会館前広場で「としょかんまつり」が開催されて、古本のリサイクルイベントがありました。事前に古本や雑誌などを図書館に持ち込むなどして引換券を交付された市民ら約400人が参加。約1万冊並んだ古本の中から、表紙や中身などをじっくり見て品定めを行い、本と交換していました。

情報アラカルト

串間で行われるイベントやまちの話題まで、見逃せない情報が満載です。

TOPIC

永徳寺立像県有形文化財指定



北方地区にある永徳寺が所蔵する「木造薬師如来立像」が本市初の県有形文化財に指定され、10月24日、教育長が同寺の松下恵悟住職に指定書を交付しました。立像は平安時代末期の制作と推測され、天台宗の開祖・最澄が自ら造立したとされる薬師如来像を模した「天台薬師像」の特徴を備え、九州でも数少ない遺例の一つです。

TOPIC

平和の尊さ未来へ継承 串間市戦没者合同追悼式



10月12日、市文化会館で串間市戦没者合同追悼式が開催されました。式典には遺族ら約300人が参列。参列者全員で黙とうを捧げた後、市内外の各種団体の代表らが祭壇に献花を行い、犠牲者の冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。また、式典中には、市民グループ・くしまコーラル合唱団による献樂を行いました。

TOPIC

高校の魅力づくり学ぶ



11月6日、市文化会館で「福島高校を育てる市民の会」主催の高校の魅力づくりを学ぶ講演会が開かれました。市民ら約200人が参加。過疎地域の高校存続に詳しい早稲田大学名誉教授の宮口侗迪氏が「高校を『地方創生の核として』をテーマに、県外の高校の成功事例の取り組みを紹介しながら、魅力づくりについて講演を行いました。

EVENT

夜の都井岬で岬馬をウォッチング



10月19日、都井岬で観光物産協会主催の「野生馬ナイトウォッチング」が開催されました。市内外から親子連れら約15人が参加。懐中電灯を頼りに、ガイドの説明を受けながら普段は見ることのできない夜の岬馬の様子やコマツヨイグサなどの植物を観察し、昼とは違った岬の魅力を楽しんでいました。